教科目名　美　　術　(Fine　Art)

学科名・学年　：全学科　１年
単位数など　：選択必修　１単位　（前期１コマ，学習保証時間　19.5 時間）
担当教員　：足　利　　桂　子

授業の概要
人間には、美的感性にあふれた創意と、それを表現したいと思う気持ちが本能的に備わっている.自らの手を通し考え、想像し、構成し、感動を持ち創り出す活動の中で全人的な創造力や感性を高めることを目標とする。

達成目標と評価方法	大分高専目標(A1)
(1) 表現する行為を重点に創意的、独創でセンスにあふれた表現の喜びを知る。（課題作品） (2) 自己の表現に没頭し、自分が発見した方法で限りない夢を表現しようと試みる。（課題作品） (3) 美術に親しみ、愛する心を身につける。（演習プリントと鑑賞レポート）	

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2	第1章　形の表現 1.1 透視図法 1.2 すべてが９０°でつながる立体 1.3 斜面、曲面をもつ立体 1.4 陰影	・一点透視、二点透視図法を理解し、立方体が描ける ・立体的な斜面、曲面が描ける ・陰影を付け立体感を出すことができる	【理解の度合い】
	作品提出		【作品の点数】　点
3 4	1.5 透視図法を使った立体的な空間表現	・創造的な形の工夫ができる ・前後、左右、上下、大小等全体のバランスが取れる ・陰影を付け立体感を出すことができる	
	作品提出		【作品の点数】　点
5 6 7	1.6 石膏像のある静物デッサン	・モデル（対象）の大づかみな形の理解ができる ・形を面でとらえ、明暗の調子を見、陰影を付けることができる ・最後までモデルを見つめ、完成することができる	
	作品提出		【作品の点数】　点
8 9	第２章　デザイン 2.1 構成と色彩　　構成練習 2.2 構成と色彩　　色彩練習	・ハーモニー(調和)のある構成ができる ・ﾊﾞﾗﾝｽ(釣り合い)のある構成ができる ・リズム(律動)のある構成ができる ・基本的な配色(有彩色と無彩色、色相、明度)ができる ・イメージによる配色(暖色、寒色、派手、地味)ができる ・配色の効果を知る（漸贈、ｾﾊﾟﾚｰﾄ効果）	【理解の度合い】
	作品提出		【作品の点数】　点
10 11	2.3 専門工学のイメージデザイン	・専門工学のイメージを言葉で表現できる ・専門工学のイメージを自由に表現できる ・言葉のおもしろさ、美しさを考え形を単純化しユニークなパターンを創り出すことができる ・イメージに合う色彩を見つけ完成することができる	
	作品提出		【作品の点数】　点
12 13	第３章 3.1 現代美術の展覧会を見る	・新しい表現の美術作品に触れ、好きな作品についての感想を記述することができる	

履修上の注意	演習プリント及び課題作品の提出期限を厳守すること 用具の準備、保管には各自十分責任をもつこと	【総合達成度】
教科書		
参考図書	表現の手がかりとなる資料は教師の方で適宜準備する	
関連科目	設計、製図、工業デザイン、建築デザインその他創造性を要する科目	
総合評価	課題作品×0.8＋（演習プリント・鑑賞レポート）×0.2	【総合評価】　点